

「ONCC 3 年をふり返って」対談

2016.1.26 教授室

追手門学院大学経済学部 李 義昭教授 VS 船本 幸二理事長



李 教授

船本 ONCCは、平成24年9月にNPO法人の認定を受け、25年4月茨木市を拠点に北摂地域密着型のシニアのカレッジとして、船出してから丸3年になり、現在520名の受講生が新しい仲間と共に楽しく学んでいます。

茨木市の生涯学習の指導をされていた李先生のお力添えで、追手門学院大学にご後援をいただき、「大学提携授業」を展開することができました。当初よりご助言をいただいています先生にシニア生涯学習について忌憚のないご意見をお聞かせいただければと思っています。

李教授 私は、兵庫県の「いなみ野学園」で、高齢者大学を卒業して大学院に進む方の福祉関係の論文指導をしていました。同学園は高齢者が仲間づくりの輪を広げながら、新しい教養を身につけて充実した生活を創造し、併せて地域社会活動の指導的人材を養成するため創設されたシニアの学びの場です。

船本 そのような学びの機会を、追手門学院大学の「公開講座・授業開放の社会人ゼミ」として創設されたのですね。私もゼミ発表会を聴講させていただきました。

李教授 そうです、大学が地域の人々との結びつきを大切に、大学の授業を聞くだけでなく、若い学生とシニアが同じ学ぶ者として意見の交換が出来るような場です。ONCCの受講生に参加を呼びかけています。世代間交流で一番希薄になっている大学生と高齢者との交流を通じて、積極的な学習と新たな自己表現を願っています。

船本 平成27年度から地域創造学部が新設されて、地域の人々の生活との結びつきを強め、地域活性化へ重要な役割を推進していただけると期待しています。

ONCCも卒業後は、地域との繋がりを大切に、福祉を中心とした生涯学習と活動を高めると同時に、充実したシニアライフの一助を目指しています。

李教授 福祉の活動は、第2の人生の糧になるので、定年になった方々にその培ったスキルを活かせるような『居場所と出番づくり』が必要と思います。大学は社会的な資源を使用しているので、地域住民が活用できるような大学が理想です。大学の先生方に何を学びたいかをもっと求めればよいと思います。

船本 李先生からONCCの受講生への提言をお願いします。

李教授 シニアも学生にも言えることですが、『いろんなことに興味をもとう！やる前にやめないで、今したいことに先ず挑戦してみよう！』 やりたいときにすることが身につきます。

ONCCからも、行政や地域創造学部に多面的にアプローチされたら如何でしょうか。

船本 私たちも、シニアの活動の場を、行政や大学に積極的に要請していきたいと思っています。

9月に予定の提携授業、李先生の「団塊の世代これまでとこれから」を楽しみにしています。

本日は、示唆に富んだお話をいただき、ありがとうございました。



船本理事長

平成27年度大学提携授業

～新たに立命館大学大阪いばらきキャンパスの提携授業を開講～

第1回 大学提携授業は、9月9日に追手門学院大学経済学部 李義昭教授による「団塊世代～これまでとこれから～」の講義を予定していましたが、近畿地方に大型台風が直撃するという警戒予報がでましたので残念ながら今回の授業を中止いたしました。

李先生にお願いしまして、28年度に同じ内容の講義を予定していますので、ご期待ください。

第2回目は、12月16日に梅花女子大学 心理こども学部心理学科 太田仁教授による講義「生きる意欲を支える対人関係」を受講しました。

ONCCにとってはフアンの多い太田仁先生は25年7月の講義以来2回目で、男女とも平均寿命が延びたシニア世代が健康で幸せな生活を楽しむためのヒント(対人関係のツボ)を教えてくださいました。

70歳代以降の脳は最も個人差が大きく衰えに差があるが、ONCCの受講生は多様な交流と知識の再生に努めている人たちばかりなので、脳の活性化には良い効果があるとの太鼓判を押していただきました。始めから終わりまで笑いが絶えない1時間30分、たっぷりと聴かせていただきました。



第3回目は2月17日、立命館大学政策科学部 飯田未希准教授による講義「戦後日本のマナーの変化」を27年に開校された「立命館大学大阪いばらきキャンパス」内A210号室にて受講いたしました。

まず敷地面積がゆったりした近代的な校舎に感嘆の声を上げながら講義室に入ると、緩やか階段教室。

自分たちが写っている大きな3つの画面が前面に、その昔受けた校舎とは雲泥の差に目を見張る思いでした。講師の飯田先生は飾らない雰囲気でご我々に問いかけながら進めてくださる講義にひとつひとつ頷きながら聴かせていただきました。

「正しい」と思っているマナーにも世代間の違い、地域の違い、国家間の違い、上下間の違い等、価値観の違いで異なり、「正しい」と信じていること事態が見方によっては「マナー違反」かもしれないということを考えさせられた講義でした。

終了後、50名のみなさんが2グループに分かれて「キャンパスの施設見学」に参加されました。



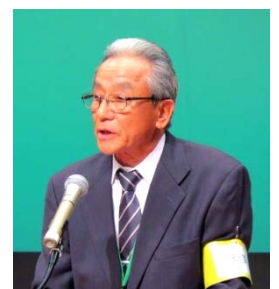
第2回 ONCCふれあい交流祭

ふれあい交流祭実行委員長
大西 友次

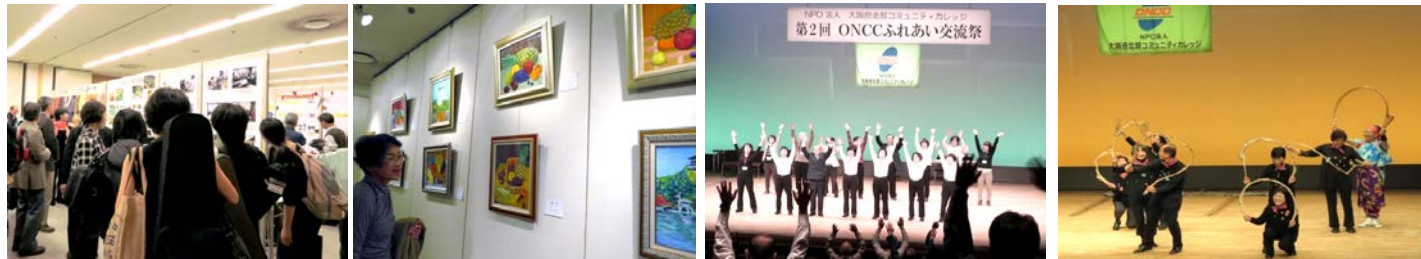
「第2回ふれあい交流祭」を11月16日吹田市文化会館メイシアターにおいて盛大に開催する事ができました。これも偏に各部会のリーダー初め、実行委員各位の一致団結のもと2期、3期の受講生全員のやる気と努力の結果だと思っております。改めて感謝を申し上げます。

「ふれあい交流祭」は授業の一環でもあり、ONCCの講義、授業での学習活動に関する展示並びに、パフォーマンスではクラス及び個人の特技を披露して頂きました。

展示に関しては、各学科で学んだ授業内容、自主学習成果、作品等の発表があり、見て楽しく、お互いに勉強する事が出来たのではないかと思います。パフォーマンスにおいて



最後に、ご支援、ご協力頂きました関係各位には心より厚く御礼申し上げます。



義」「ものづくり体験」を通して、自分の未熟さと甘さを痛感しました。この2年間仲間と一緒に「ものづくり」を愉しむ事が出来感謝します。それに、先生や教務の方々、ONCCのスタッフの皆様、本当に有難うございました。

今後学んだ事を次の世代に、伝える機会を持ちたいと考えています。【文： 下野 泉】

歴史・文学を彩る“人々と心”を学ぶ科 2期生 吹田教室



日本が積極的に世界に目を向け始めた信長時代から徳川幕府が行った 250 年にも及ぶ鎖国時代を経て現代に至っています。その間、欧米諸国の植民地獲得競争によって世界地図は大きく塗り替えられました。今、地球上で紛争・テロ・戦争が多発していますが、その多くは長い歴史に由来すると思います。今の日本は、他の国々とは違って特別な立ち位置にあるとは言えない位、世界は狭まっています。2年間 日本の歴史・文学を学んだことを基にして、世界

の動きを見守るのもいいのではないのでしょうか？ 裏先生、若井先生、ONCCの皆様、貴重な時間を御一緒に過ごす事が出来、感謝いたします。ありがとうございました。【文： 御給 伸枝】



アッ！という間の2年間でした。裏先生、若井先生の評判通りの講義は本当に楽しく聞けて、いい勉強になりました。但し、頭に残っているもの、全く残っていないものがありますが！少しでも記憶する為、講義の概略をWordにて書き留めて、これを読めば思い出されます。それに、なんといっても現地探訪で、法隆寺・箸墓古墳・大神神社、大原野神社、上御霊神社・日野薬師・相国寺、元興寺・円成寺・柳生の里へ行き、先生の説明を聞いたことがとてもいい思い出です。また、班の親しい友人ができ、班別行動で行った銀閣寺、服部緑地・今城塚古墳、その後の食事会は忘れがたい思い出です。ONCCの関係者、クラスの皆さん お世話になりましたこと、感謝いたします。【文： 山口 雅宏】

歴史・文学を彩る“人々と心”を学ぶ科 2期生 茨木教室

長いようで、短い2年間であったと思います。入学当初は1年間続けられるかどうか心配でしたが、若井先生と裏先生の授業が面白く“アッ”という間の2年間でした。

若井先生の歴史の授業は、従来の説だけでなく、当時の書簡等古文書をもとに新しい研究成果を教えて頂き、解り易く、興味を持って授業を受けることができました。

学生時代、古文の授業は大の苦手だったのですが、裏先生の文学の授業は、初めに作者の時代の政治・経済・宗教・文学等の時代背景と作者の生い立ちを詳しく解説して頂いたので、文学作品をより深く理解することが出来ました。

若井先生、裏先生 2年間ご指導頂きまして、誠に有難うございました。当クラスを代表して厚くお礼を申し上げます。【文： 月森 善文】



キャンパスライフ(美術)科【水彩】 2期生 高槻教室

！タイア後の余暇をどう過ごすべきかと考えていた矢先、ONCCの受講生募集を知り、絵でも描くか！ 部屋に飾ってみたいのが動機です。筆を握るのは中学以来。入学後、水に映る影、水の流れ、岩に当たるしぶき、陰と陽等々、また旅先では、この風景を描けたらいいなあ〜と。1年目の絵画は段々と無限大に奥行きが深いことが分り、また納得のゆく作品が出来ず、ため息をつくばかり。しかし、土方先生のユーモアを交えた講義、マジヤンのような筆捌き、ポイントをついた指導は大変勉強になり、2年目には、部屋に飾れる絵も出来ました。夫婦共々学んだ2年間、卒業に当たり、先生や教務担当の方に感謝！ 喫茶、居酒屋での絵談義などで交流を深めた仲間たちとの思い出にありがとう、乾杯！ 【文： 佐伯 博之】



楽しかった！知らない人ばかりで不安でしたが、絵を見、茶話会をしたりするうちに親しくなり、月曜日がとても楽しみになりました。特に心に残っているのは、初めて描いたモデルさんのクッキーと自画像です。あんなに集中して取り組んだことは、最近ありませんでした。皆で行ったスケッチもいい経験でした。どれも個人では出来ない事ばかり！土方先生の授業は分り易く、すぐ実践してみるのですが、なかなか出来ません。練習を重ねないと…を実感した2年間でもありました。卒業し



でも学んだ事を生かしたいと思います。最後に、丁寧に指導頂いた土方先生、あっち、こっち向いている私達をまとめ、支えて下さった鈴木、浦上両教務に心からお礼申し上げます。ありがとうございました。【文： 米田 かよ子】

自然とものづくりを愉しむ科 3期生 豊中教室

私が身に付けたいのは指導力ではなく、興味と好奇心そして仲間づくりです。今回は1年間で卒業となり、それが未だ達成されてない！のに…残念です。総勢20人足らずの豊中教室で、優しい仲間に出会い、ス・テ・キな沢山の作品が仕上がり、思い出が一杯詰まった「ものづくり科」でした。丁寧に指導下さった松井先生、有難うございました。

またお会い出来ます事を願っております！【文： 藤本 久美子】



4、5月の石粉粘土、苦勞して休憩も取らずに仕上げた作品は、今も家に飾っています。6、7月の染色、染めの日は雨ばかりで残念。新鮮な気持ちと溢れる期待感で楽しく取り組み、思い描いた色合いになった時は感動しました。石粉粘土・染色・木工と数週間かけて作りあげた作品は、助け合いながら満足のいく作品に仕上がり思い出一杯、良い記念となりました。また、単発で習った紙ヒコーキや竹トンボ、ブローチ等、色々習えた事が良かったです。

1年制の為もの足りない面もありましたが、楽しかったです。もう1年続けたい…皆様有難う！【文： 中津川 雅三】



アウトドアを楽しむ科 3期生 吹田教室

アウトドア科の特徴は、フィールドワークが多く、皆が協力して行動しなければならないため、お互いの親近感が生れ、仲良くなった事だと思います。大阪北部の各市から集まった30名が4班に分かれたのが、まとまるのに丁度よかったと思います。毎週のように班別あるいは数人のグループに分れて、ニュー・スポーツ、オリエンテーリング、ウォークラリー等を体験しました。更に、阿南の海洋実習でヨットやカヌー等も楽しみ、これまでの生活の延長では知り合う事もなかった、であろうシニア達と笑ったり、時には悩んだりしつつも1年を過ごす事が出来ました。いつまでも元気に動き回りたいシニア達にとって、良い思い出になり、予想以上に楽しい1年間でした。【文： 中村 敬司】



受講生になり、未経験なことを沢山経験した。青い芝生で「パークゴルフ」を始めて経験したが、常に勝敗に追い掛けられ、焦るばかり…。でも、この先誘われたら初心者クラスで参加可能かも…。山野でポイントを探すオリエンテーリングでは、里山、田舎道を迷いながらも建造物、道標等発見すると嬉しく歩くことが出来て得意とする分野かな。しかし、水の苦手な私にとって、「海洋体験は苦痛で、“早く終わって欲しい！”の一言に尽きる」と、悲喜交々。特に楽しんだ事は、キャンプ、番外編のチャリティランだった。競技ばかりがアウトドアではない。得意な分野を極めれば人生豊かに健康寿命を延ばせそう。班活動も充実していたし、この1年多くの体験をさせて頂いた仲原先生、クラスの仲間感謝するばかりだ。【文： 松岡 季代子】



音楽を楽しく学ぶ科 3期生 豊中教室

役所に講座案内があり、以前から日本史とクラシック音楽に興味を持っており、今回は音楽を受講する事としました。最初に松本先生の知識の豊富さと音楽に対する情熱が素晴らしく、今後も一層のご活躍をお祈り致しております。



講座では、クラシック音楽の歴史とその背景を学ぶ事で、日本の歴史と文化の違いの大きさを痛感した。世界史に関して歴史年表程度の知識しかなく、音楽を聴く上で歴史的、文化的背景がとても重要だと教えられ、これからの音楽の聴き方、取組方に役立てたいと思っています。最後に、楽しい生演奏を数多く聞かせて頂いたアンサンブル・サビーナの皆様、同じ教室の方々、並びに学校関係者の方々に深く感謝いたします。

この1年、本当にありがとうございました。【文： 雀部 晋作】

クラスの皆さまと少しは話しができるようになり、有意義で充実した1年でした。クラス全員とはいきませんでしたでしたが、同じ班の人とはふれあい交流祭や学習成果発表会の準備を通じて随分と打ち解けて話が出る様になり、良かったと思います。

2年目は、少しは余裕をもって、クラスミーティングや懇親会等に工夫をこらし、クラス全体の親交を深め、楽しく、有意義な1年となるように努めたいと思っています。【文： 越智 清行】



1年間の授業はアツという間に過ぎ去りました。授業について行く事すら大変な程濃厚・充実した内容でした。若井先生を中心に、水谷、市、狩野、柳沢の5先生夫々に得意・特長があり、私達の小さな脳(悩)は、常に忙しく、目が回るほど精神を集中して聴講しました。春秋の現地探訪ツアーは、日頃の座学から解放され、全員喜々として学び・楽しみ・会食したものでした。近隣への校外学習にも新しい発見がありました。地元豊中が、歴史的には顕著な存在(地)であり、史跡・名所・旧蹟が豊富にあること、神戸の山奥にも、古い時代の埋蔵物が開示されている事等、ONCCに登校していなければ知りえぬ歴史や事象に数多く出会う幸福の一時でした。【文： 井上 輝夫】



歴史・文学の人と心を学ぶ科 3期生 高槻教室

互いに秘めたる思いを胸に希望と不安を持って迎えた4月の入学式、早くも1年が過ぎようとしています。裏先生と若井先生の楽しい迫力のある講義を受講でき最高に幸せでした。校外学習では沢山の神社仏閣を巡り知見を拡大し、ルーム講座では地域の高年齢者への気配りと配慮を痛感し社会活動参加への重要性を再認識した。広報は、少しでもクラス全員が柔らか頭を維持し、交流の輪の広がりを念頭に編集しましたが如何だったでしょうか。1年経過し感じた事は、若いなあと思った人が案外お年を召されており、やはり心と気の持ち方が大切と感じました。1年間、本当に有難うございました。裏先生、若井先生そして皆さん、次年度も宜しくお願い致します。【文： 広報担当一同】



初年度も終わりに近づき、この1年を振り返ってみます。若井先生の歴史、裏先生の文学をほぼ同じ時代を同時進行で教えて頂きました。若井先生の軽妙洒脱なお話、裏先生の博識と話術に依って、同じ事柄も新鮮に聞こえたのは、両先生のお力の賜物です。平安時代まで教わりましたが、古代からの豪族が、事件が起きる度に次々と没落して行き、逆に事件の度にのし上がる藤原氏の凄さ、実権を失い傀儡化しても権威を持って今に続く天皇が興味深い事でした。校外学習では大神神社の社殿奥迄入れ、業平ゆかりの地を訪れ、皆で歩き回ったのも楽しい思い出です。両先生、あと1年宜しくお願いします。【文： 小山 哲夫】



カメラ・フォトグラフ科 3期生 茨木教室



最初の講義で、「紙カップを白く撮影しなさい」と大坪先生から言われ、全員「ウーン」と唸って始まったカメラ科、もう1年になります。初心者からベテランまで幅広い人が集まり、授業が難しくて分からない、理論はいいからもっと撮影実習の時間を増やして欲しい等、色々な意見が飛び交いました。クラス揃って奈良での野外撮影、夏休みを利用した班単位の撮影会やその後の反省会で、初心者はベテランにカメラの扱いを聞く等、お互いに仲間意識を深めつつ、コミュニケーションを図ってきました。2年目はこれまでの基礎的な講義を土台に実践的な撮影実習が多く組み込まれると聞きます。誰でも簡単に扱えるカメラですが、一味違った個性的な表現をどう写し込むか、益々楽しくなりそうです。

【文： 畠中 達】



期待と不安を抱いて入学し、1年が過ぎようとしている。初心者からベテランまでいる受講生も夫々自分に課したスキルアップが出来たと思う。カメラの基礎的操作、画面構成、シャッターチャンスに加えてただ撮るだけではなく、その時直観的に感じた事を写し出すことが大切だと教わりました。十人いれば十の感じ方があり、夫々にその思いを写し出せる様、日々精進しなければと思っている。作品のタイトルも撮影時にしっかり狙いを定め、被写体の何に魅かれ、どう表現したか、時間を置かず文に言い、被写体から思い浮かぶ素敵な言葉を付けると、見る人の連想が広がり、作品が立体的に見えるのだと教わりました。来期もしっかり学び、自分が嬉しくなるような写真が撮れるようになりたいです。【文： 戸野 清子】

ONCC設立3周年記念 盛会に開催

平成 27 年 11 月 27 日素晴らしい晴天に恵まれ、ONCC設立3周年記念「講演と音楽の集い」を、豊中市立アクア文化ホールにて、400 名近いご来場をいただき、盛大に開催することができました。

公務ご多忙の中を、駆けつけてくださった豊中市長の浅利敬一郎様からONCCへの温かいご祝辞を頂いて開演しました。

第 1 部は、日本モンゴル文化経済交流協会会長の佐藤紀子先生に、映像を見ながら「その昔、群雄割拠となったモンゴルはいま」というテーマで語っていただきました。

ゆったりとしたお話を聞きながら、心は壮大なモンゴルの大地を駆け巡り、平和の大切さを噛み締めることができました。



浅利豊中市長

第 2 部では、華やかな民族衣装をまとったサウガゲレルさん(モンゴル国功労章受章

者)とバストレンさん(元エルデネット市民族歌舞団専属演奏者)のお二人から世界文化遺産に登録されている、「馬頭琴、リンベ、ホーミー、モンゴル長唄等 13 曲」もの演奏を聴かせていただきました。

満席の会場は、迫力と華やかな演奏と歌声に魅了され、佐藤先生が 1 曲ごと解説をしてくださったことで、モンゴル国への憧れが増幅され、今度はモンゴルの草原で聴いてみたいと思われた方も多かったことでしょう。

ご来場いただきました皆さまに感謝申し上げますとともに、変わらぬご支援をお願いいたします。



佐藤紀子先生



平成 28 年度「学科の概要」

平成 28 年度は、3期生2年目の4学科と 4 期生8学科の12学科・受講生 510 名で開講します。

学 科		教室・曜日	学 科	教室・曜日
3期生	キャンパスライフ[美術]科	吹田市・月	歴史・文学の人と心を学ぶ科	高槻市・火
	歴史のロマンと謎に迫る科	豊中市・火	カメラ・フोटグラフ科	茨木市・木
4期生	大阪府シルバーアドバイザー養成講座 地域福祉を学ぶ科	豊中市・木	健康とアウトドア科	吹田市・木
	キャンパスライフ[水彩]科	高槻市・月	西国街道の史跡を訪ねる科	豊中市・木
	音楽を楽しく学ぶ科	摂津市・月	歴史と古典文学を学ぶ科	豊中市・金
	先人の知恵から学ぶ考古学科	吹田市・月	歴史のロマンと謎に迫る科	茨木市・金

編集後記 当カレッジの設立来、生涯学習に対する助言ならびに大学提携授業の基盤づくりにご尽力いただいた李教授と舩本理事長に熱い思いを語っていただきました。

今後も、ご支援をいただいている関係各位にご登場をお願いできればと思っています。

本号から「編集委員会」を通じて、記事内容の充実を図りながら、皆さまにタイムリーに活動状況をお知らせしてまいります。3月・6月・10月の年3回発行の予定です。(佐保田)